

2025年3月期 中間期 決算補足説明資料





決算概要

決算概要

決算概要 前期比で増収増益を達成

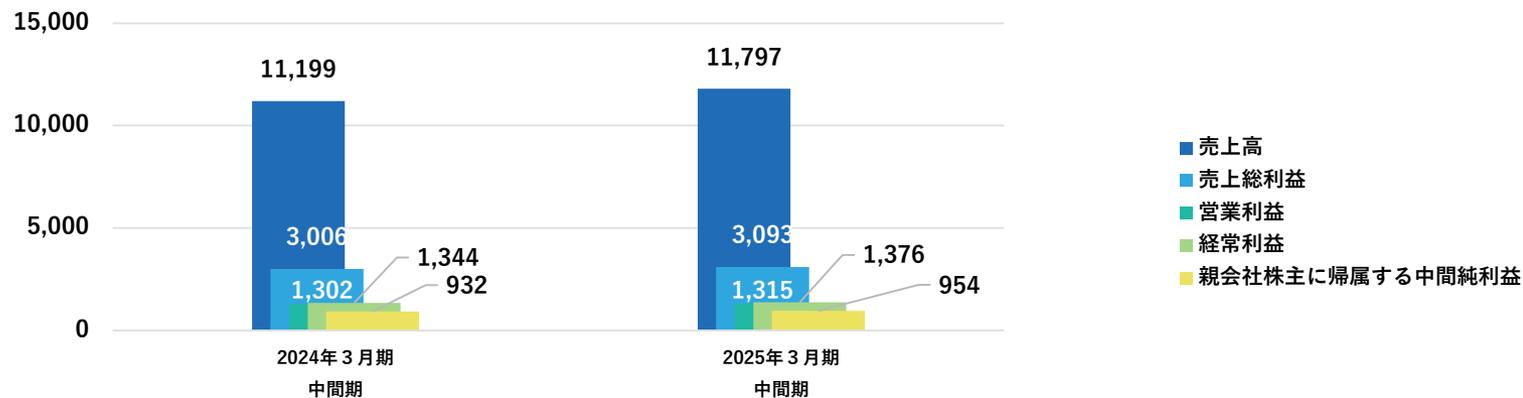
科 目	2024年 3 月期 中間期		2025年 3 月期 中間期	
	金額	前年比	金額	前年比
売 上 高	11,199 百万円	104.4%	11,797 百万円	105.3%
売 上 総 利 益	3,006 百万円	108.5%	3,093 百万円	102.9%
営 業 利 益	1,302 百万円	111.2%	1,315 百万円	101.0%
経 常 利 益	1,344 百万円	111.2%	1,376 百万円	102.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	932 百万円	114.4%	954 百万円	102.4%
受 注 残 高	8,787 百万円	118.7%	8,850 百万円	100.7%

決算概要

決算概要

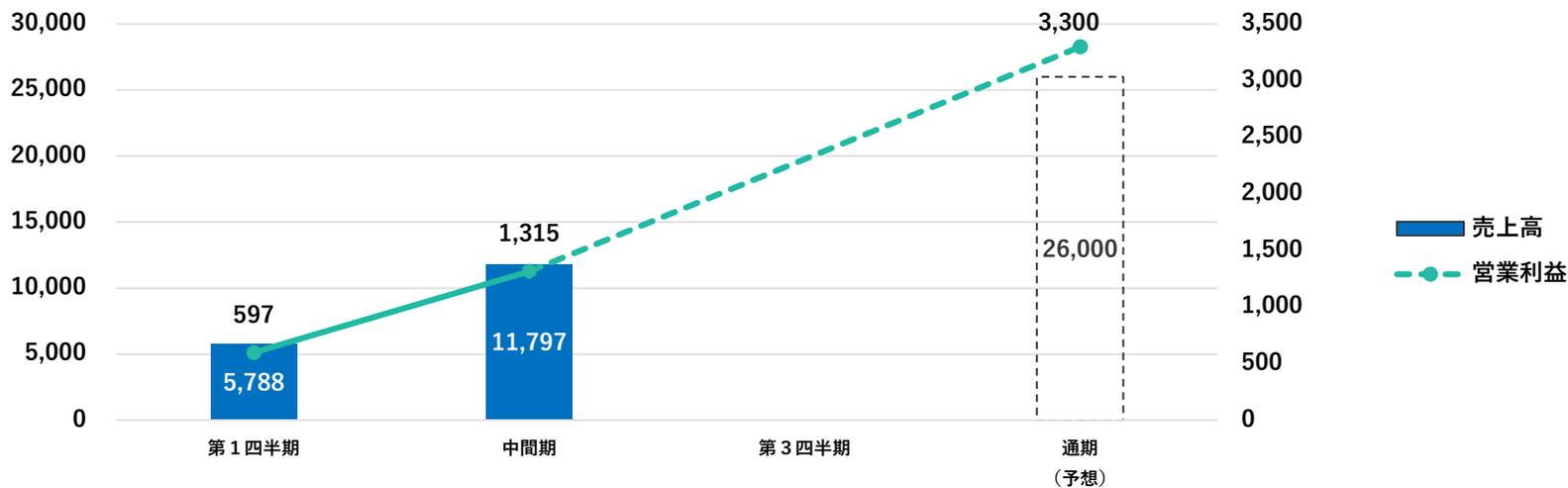
前年同期比

[百万円]



2025年3月期の連結業績

[百万円]



決算の増減要因

売上高

前年比**105.3%**

- ⊕ 要因 **未来社会** 公共Solにおいて情報利活用ソリューションが堅調
- ⊕ 要因 **未来社会** エネルギーSolにおいて電力会社向けソリューションが伸長
- ⊕ 要因 **産業技術** IoT (AI) Solにおいて製造メーカー向けソリューションが堅調
- ⊕ 要因 **産業技術** メディア Solにおいて放送業界向け映像ソリューションが伸長
- ⊕ 要因 **産業技術** 半導体関連装置に関する開発業務が伸長
- ⊖ 要因 **顧客業務** 信販向けのシステム開発案件が縮小

営業利益

前年比**101.0%**

- ⊕ 要因 **未来社会** 公共SolおよびエネルギーSolにおいてソリューション案件が増加したことにより利益拡大
- ⊕ 要因 **産業技術** メディアSolを含めて全体的にソリューション案件が増加したことにより利益拡大
- ⊖ 要因 **未来社会** 医療Solにおいて一部不採算案件が発生

決算概要

事業区分別の業績

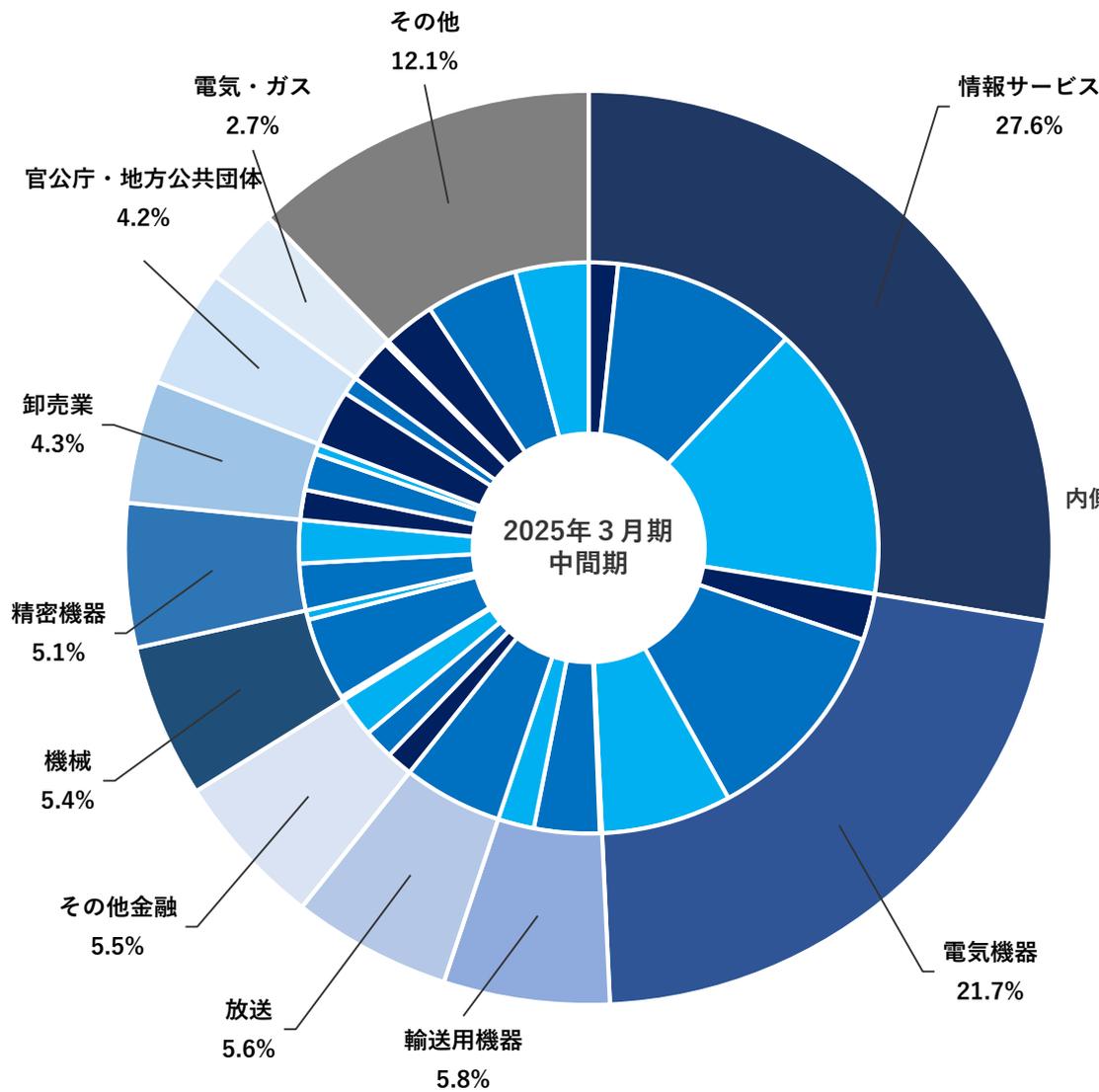
		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期	
		売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
未来社会ソリューション事業	公共 Sol	530 百万円	145 百万円	601 百万円	252 百万円
	医療 Sol	415 百万円	140 百万円	318 百万円	-121 百万円
	エネルギー Sol	491 百万円	151 百万円	714 百万円	238 百万円
	その他 Sol	479 百万円	142 百万円	463 百万円	142 百万円
	合計	1,917 百万円	579 百万円	2,097 百万円	510 百万円
産業技術ソリューション事業	IoT(AI) Sol	614 百万円	231 百万円	663 百万円	216 百万円
	メディア Sol	614 百万円	78 百万円	818 百万円	182 百万円
	GNSS Sol	188 百万円	66 百万円	188 百万円	68 百万円
	DXインサイト Sol	139 百万円	35 百万円	180 百万円	49 百万円
	その他 Sol	3,374 百万円	1,041 百万円	3,788 百万円	1,141 百万円
合計	4,930 百万円	1,455 百万円	5,640 百万円	1,658 百万円	
顧客業務インテグレーション事業		4,351 百万円	971 百万円	4,059 百万円	923 百万円

決算概要

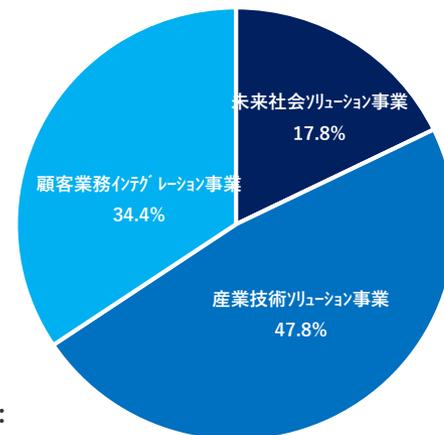
連結貸借対照表

	2024年3月期			2025年3月期 中間期		
	金額		前期末比	金額		前期末比
流動資産	14,972	百万円	114.0%	14,709	百万円	98.2%
固定資産	8,917	百万円	103.8%	8,651	百万円	97.0%
資産合計	23,889	百万円	110.0%	23,360	百万円	97.8%
流動負債	6,242	百万円	108.1%	5,436	百万円	87.1%
固定負債	642	百万円	86.1%	550	百万円	85.6%
負債合計	6,885	百万円	105.6%	5,987	百万円	86.9%
純資産	17,003	百万円	111.9%	17,373	百万円	102.2%
負債・純資産合計	23,889	百万円	110.0%	23,360	百万円	97.8%

売上高の業種別割合



セグメント別割合



内側の円グラフ内訳：

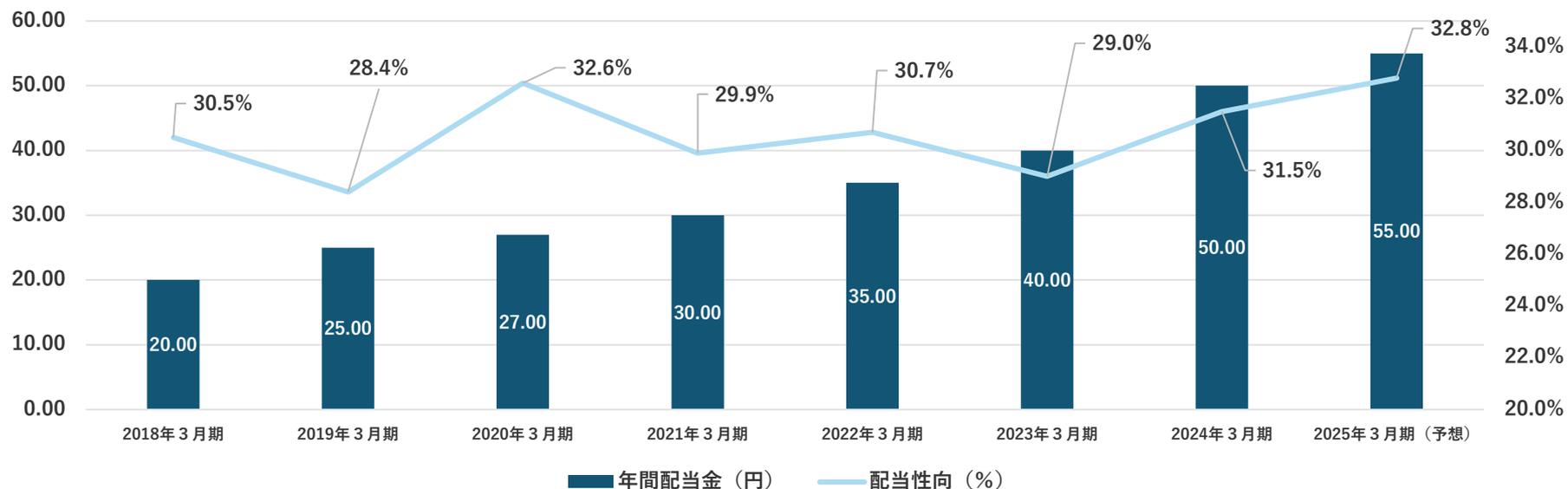
- 未来社会ソリューション事業
- 産業技術ソリューション事業
- 顧客業務インテグレーション事業

決算概要

配当の状況

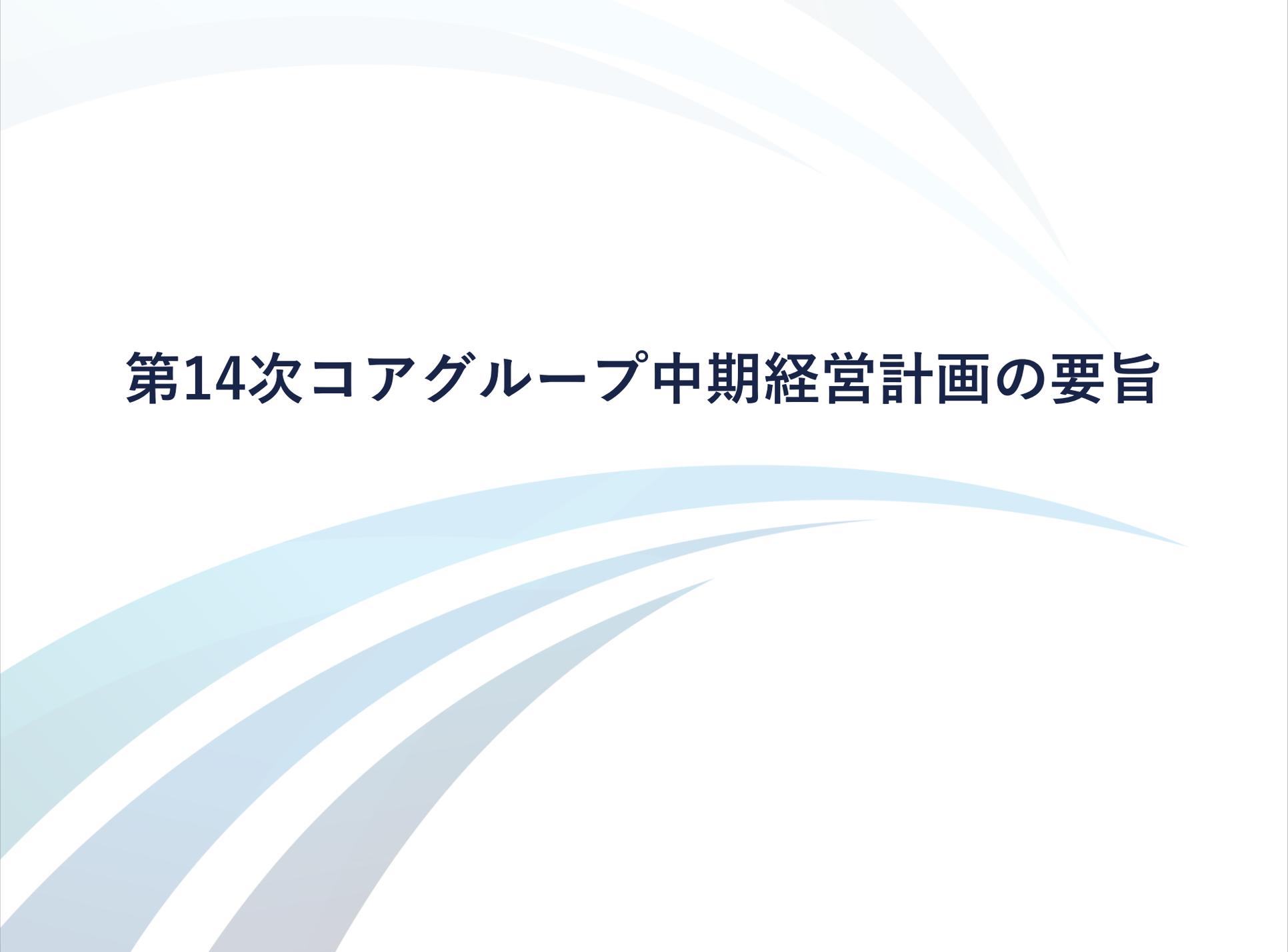
	年間配当金					配当性向 (連結)
	第1四半期	第2四半期 (中間期)	第3四半期	期末	合計	
2023年3月期	—	—	—	40.00円	40.00円	29.0%
2024年3月期	—	5.00円※	—	45.00円	50.00円	31.5%
2025年3月期 (予想)	—	10.00円	—	45.00円	55.00円	32.8%

※コアグループ結成50周年記念配当





中期経営計画の進捗状況



第14次コアグループ中期経営計画の要旨

第14次コアグループ中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）

Vision
2026

ソーシャル・ソリューションメーカー

ICTで社会課題を解決し、価値を共創する企業として
SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を実現

ソーシャル・ソリューションメーカーとは

自社の特長を最大限に活かしてICTサービス（技術と経験）で社会課題を解決すること

基本戦略

基本方針

事業戦略

全国の顧客に均一なサービスを提供

グロースエンジン

ビジネスソース

未来社会

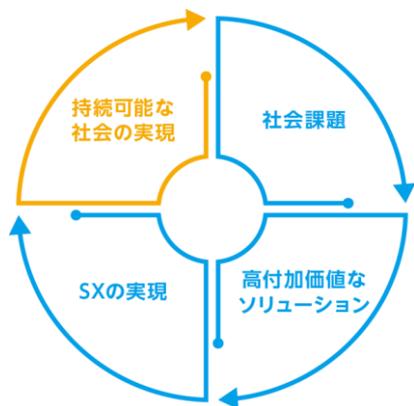
ソリューション事業

産業技術

ソリューション事業

顧客業務

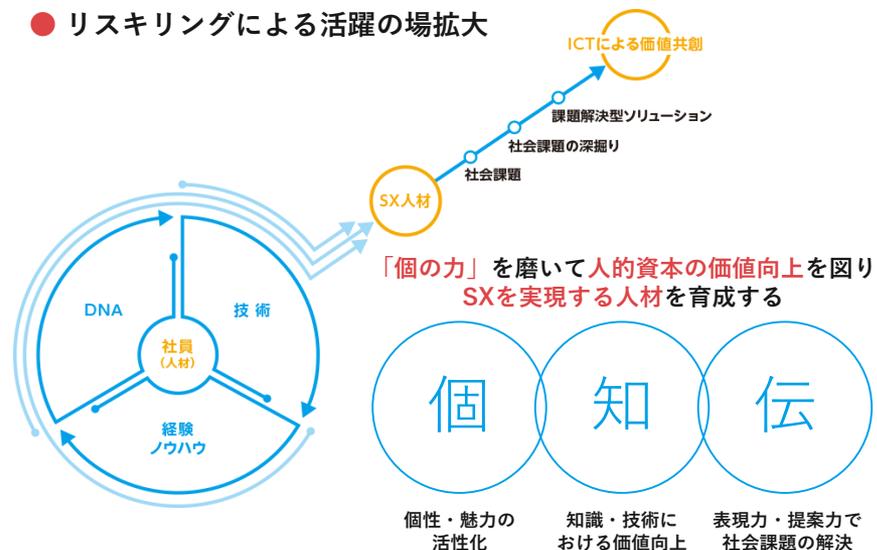
インテグレーション事業



人材戦略

社会課題を可視化し、高付加価値を創出するSX人材

- アップスキリングによるソリューション力向上
- リスキリングによる活躍の場拡大



財務戦略



研究開発



知的財産



人材育成



M&A

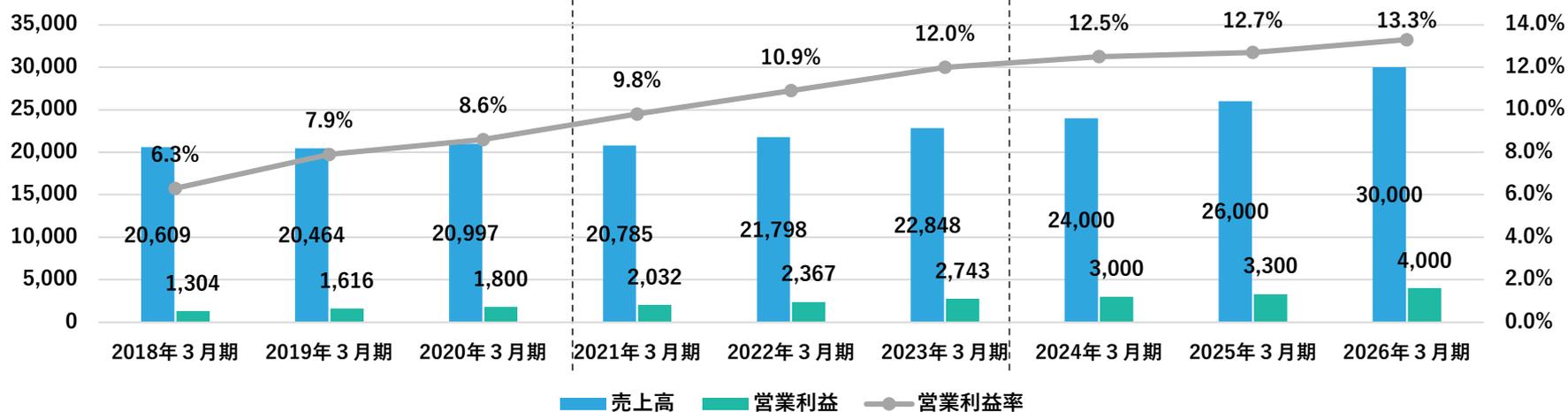
2026年3月期 ゴール

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	240億円	260億円	300億円 (M&A含む)
営業利益	30億円	33億円	40億円
営業利益率	12.5%	12.7%	13.3%

前々・前計画からの経営指標推移

	第12次			第13次			第14次		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	20,609	20,464	20,997	20,785	21,798	22,848	24,000	26,000	30,000
営業利益	1,304	1,616	1,800	2,032	2,367	2,743	3,000	3,300	4,000
営業利益率	6.3%	7.9%	8.6%	9.8%	10.9%	12.0%	12.5%	12.7%	13.3%

[百万円]

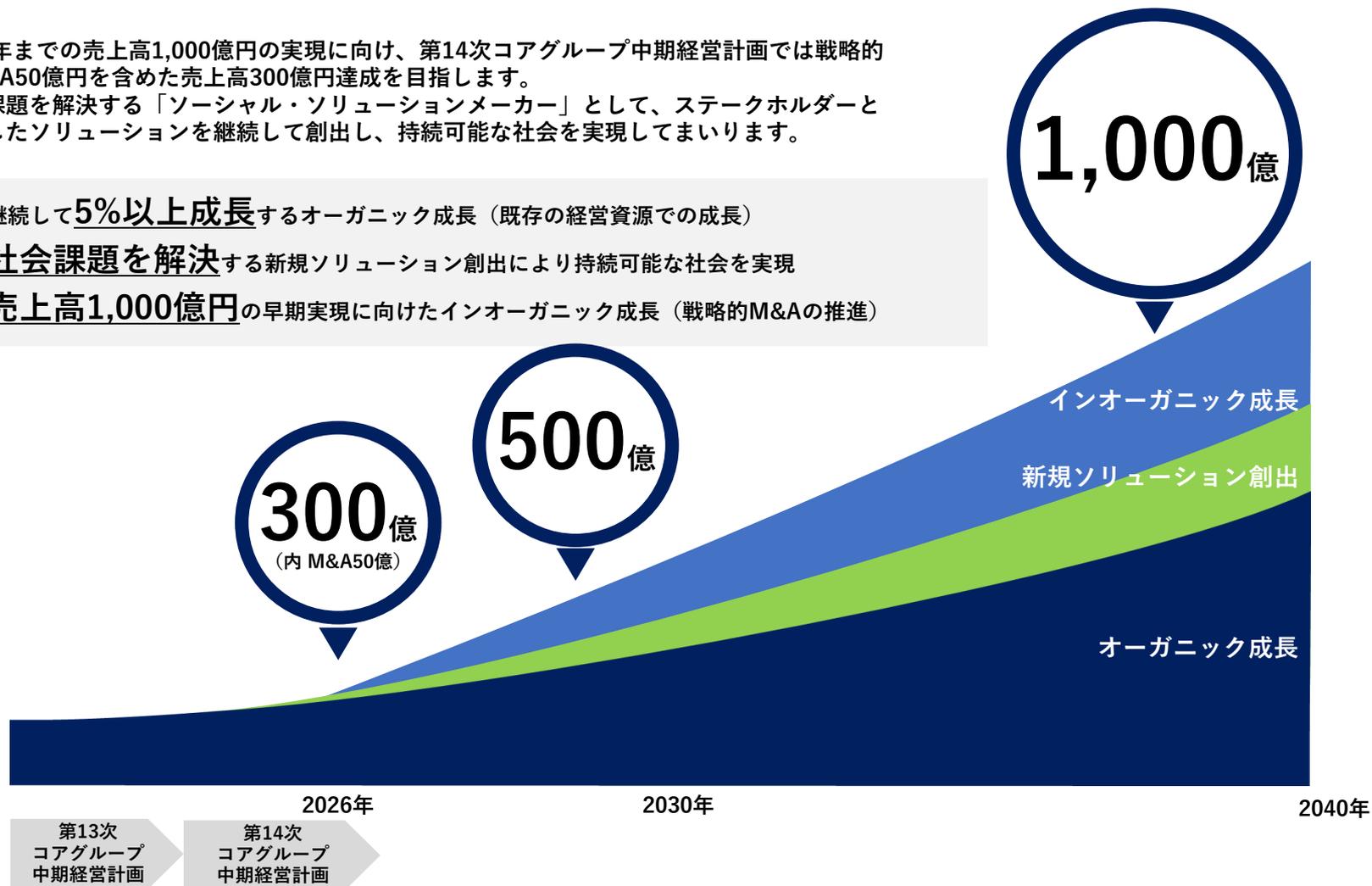


1,000億企業を目指して

2040年までの売上高1,000億円の実現に向け、第14次コアグループ中期経営計画では戦略的なM&A50億円を含めた売上高300億円達成を目指します。

社会課題を解決する「ソーシャル・ソリューションメーカー」として、ステークホルダーと共創したソリューションを継続して創出し、持続可能な社会を実現してまいります。

- 継続して**5%以上成長**するオーガニック成長（既存の経営資源での成長）
- **社会課題を解決**する新規ソリューション創出により持続可能な社会を実現
- **売上高1,000億円**の早期実現に向けたインオーガニック成長（戦略的M&Aの推進）



分野別戦略

事業戦略

- ・ **事業セグメント**の再定義による事業の選択と集中及び顧客課題から社会課題解決へスケールアウト
未来社会ソリューション事業、産業技術ソリューション事業、顧客業務インテグレーション事業
- ・ **自社技術、業務ノウハウの活用**
社会課題の見える化⇒戦略投資によるソリューション化⇒全国へ均一ソリューションの提供⇒社会課題解決
- ・ **先進技術による新規市場創出**
- ・ **情報・データの利活用**（コア営業DX、コア企業プラットフォームの推進）

人材戦略

- ・ **SX人材の育成**
知識の最大化（社会課題の見える化力、既存業務フローの習熟度の最大化）
能力・技能の向上（顧客課題の分類・顕在化能力、ドキュメント力）
- ・ **人材の最適配置と活性化**
組織を超えた人材交流の場の提供
- ・ **数の確保**

財務戦略

- ・ **研究開発**の戦略投資と成果の見える化
- ・ 事業戦略に沿った**M&A**（技術・人材）
- ・ **知的財産**の新規取得

分野別戦略

わたしたちのビジネス

価値観の多様化・産業構造・事業環境



グロースエンジン

ビジネスソース

競争優位性の確保

顧客課題への対応



中期経営計画へのとりくみ状況

事業戦略

人材戦略

財務戦略

単位：百万円

 未来社会	2024年3月期 第2四半期 (中間期)	2025年3月期 第2四半期 (中間期)	前年比	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災やBCPにおけるエッジデバイスやドローンを活用したデータ収集と生成AIを活用したデータ利活用の現場ニーズが高まる。 ● 全国自治体での治安対策関連システム受注が堅調。 ● 2024年（令和6年度）介護報酬改定を受けてLIFE対応の楽くすりの販売が好調。老健施設での薬歴参照、特定健診参照、電子処方箋対応が加速。
	売上高	1,917	2,097	
営業利益	249	131	52.7%	

 産業技術	2024年3月期 第2四半期 (中間期)	2025年3月期 第2四半期 (中間期)	前年比	<ul style="list-style-type: none"> ● みちびき CLAS・MADOCA・信号認証対応GNSS受信機『Cohac∞Ten++』の2024年9月末発売が決定。それに伴う東南アジア地域での利用引き合いが急増。 ● みちびき CLAS対応受信機の大型案件を受注。 ● クラウド型点呼システム『Cagou IT点呼』が2024年10月「業務前自動点呼」への対応を発表。業務前自動点呼先行実施に関して多数の引合い。
	売上高	4,930	5,640	
営業利益	613	762	124.4%	

 顧客業務	2024年3月期 第2四半期 (中間期)	2025年3月期 第2四半期 (中間期)	前年比	<ul style="list-style-type: none"> ● 金融業務の大型案件収束の影響が大きく、売上高は減少。売上総利益率は維持。 ● 製造業務は売上総利益を確保した上で堅調に推移。公共業務、流通業務で拡大傾向。 ● グロースエンジン事業への要員シフトが進行。
	売上高	4,351	4,059	
営業利益	440	421	95.7%	

生成AIを活用した社会課題解決への取組み

- 生成AI技術の利活用により、業務効率化にとどまらない人口減少や高齢化に起因する人手不足など社会課題の解決に向けた取組みを開始。医療従事者の負担軽減、安心安全な生活環境、エネルギーの効率化に焦点を当て推進。
- ツール開発に加え生成AIを適切かつ積極的に利用する人材の育成・スキル習得支援により、生成AIを用いたDXの推進を加速。

生成AIを活用したデータ解析、大規模言語モデル (LLM) による業務DXの推進



人的リソース不足の解消

専門知識・教育機会の提供

目的に応じたデジタルデータの利活用



クラウド型点呼システム Cagou IT点呼

- 業務前自動点呼の先行実施要項の機器要件に対応。業務後に加え業務前も自動点呼が可能となり、点呼の自動完全化により自動車運送業のさらなる働き方改革の促進に貢献。
- クラウド型点呼システム「Cagou IT点呼」が、国土交通省の事故防止対策支援推進事業における「令和6年度 過労運転防止のための先進的な取り組みに対する支援」の補助金対象機器に認定。

Cagou IT点呼

業務前自動点呼の
先行実施要領への対応を発表
(2024年9月20日 当社ニュースリリース)



https://www.core.co.jp/system/files/2024-09/news_20240920.pdf

業務前自動点呼の導入効果

業務後自動点呼に加え、業務前自動点呼への対応により、運行管理者・運転者の長時間労働削減に貢献



運行管理者

点呼のための
営業所での待機が不要に



運転者

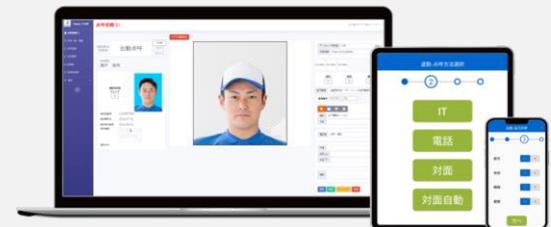
点呼のための
待ち時間が不要に



経営者

従業員の
働き方改革を実現

令和6年度 国土交通省の補助金対象機器に認定



国土交通省の事故防止対策支援
推進事業については[こちらから](#)

採用活動・人的資本投資への取り組み

- 次世代人材の育成に寄与するため、経済同友会インターンシップ推進協会に加盟。
- 採用プロセス・採用チャネルの見直しを実施し、スカウト型採用の本格導入を開始。
- 人材の最適配置と活性化を目的としたエンゲージメント調査を実施。
社員のエンゲージメント向上に向けた課題を特定し、改善施策の検討を実施予定。
- SX人材育成に向けた取り組みにおいて、若手社員を対象とした育成プログラムがスタート。

若手社員を対象とするSX人材育成に向けた取り組み

ゴール

- ソリューション創出に向けた基礎知識の習得
- 表現力、伝達力の向上

基礎知識

質の高いe-ラーニングでソリューション創出に必要な知識を習得



思考力

創造的な課題解決を行える様々な思考手法を学習知識の蓄積を図る



表現力・伝達力

業務やゼミ形式の研修を通じて表現力・伝達力のスキルアップを図る



株式会社アコード・システム 障がい者就労支援

- グループ会社である株式会社アコード・システムがICTを活用したスマート農業を推進している「いちご農園レイクサイドレッドファーム（宮崎市）」にて、イチゴ栽培体験を障がい者支援事業者等に提供することにより障がい者がそれぞれの特性にあわせて農業の分野で活躍・成長できる就労支援活動をスタート。
- 障がい者就労支援を通じ様々な垣根をこえた理解と交流が生まれることを目指して対象を広げる等、活動を拡大する方針。

運営するイチゴ農園にて就労移行支援事業者と農業就業支援活動を実施



Lakeside Red farm
おいしいを宮崎から

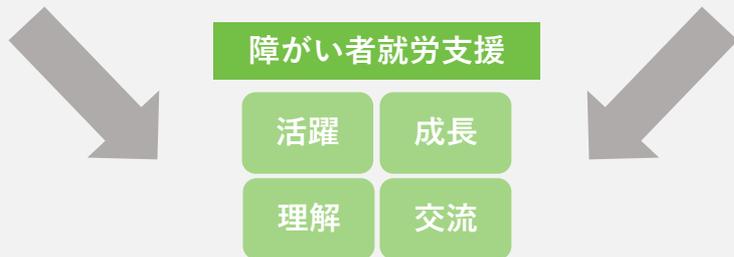


ICTを活用したスマート農業を推進

就労移行支援事業者 Stanza様

【就労移行支援事業】

- ・ 入職促進に向けた取組
- ・ 資質の向上やキャリアアップに向けた支援
- ・ 両立支援・多様な働き方の推進



本資料に含まれる計画や業績見通し等は、現時点における情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、今後の経済動向や市場環境等の様々な条件・要素により変動する可能性があります。

そのため、実際の業績がそれらの記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

株式会社コア

〒 154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル

 03-3795-5111

 www.core.co.jp